



作品167 イリコ庵



観音寺見送り隊が旗を振りお見送り



作品169 トランス・フォー・マー -島に成る-



島のお母さんも伊吹いりこをPR



広報 No.133

かんおんじ

2016 / 平成28年

11

November



笑顔のボランティアスタッフ



案内マップとイリコを来場者に



大漁旗をはためかせ海上でも歓迎



ニューいぶきと並走する漁船



猫もお出迎え



作品168 限界 / 伊吹の静けさ打つ水の音



伊吹島からアートを発信

作品170

Here, There, Everywhere: Project Another Country -Dap-Pay-



路地にある食事処



オープニングセレモニーで島の歌「宝物」を合唱



休憩所の手作り看板がおもてなし



うららの台所



案内板があちこちに



伊吹の小中学生がお出迎え

目次

- 観音寺市の家計簿 2~4
- 戦争体験談を募集します..... 5
- 仮称南部地区幼稚園建設の基本設計がまとまりました... 6

瀬戸内国際芸術祭2016秋会期

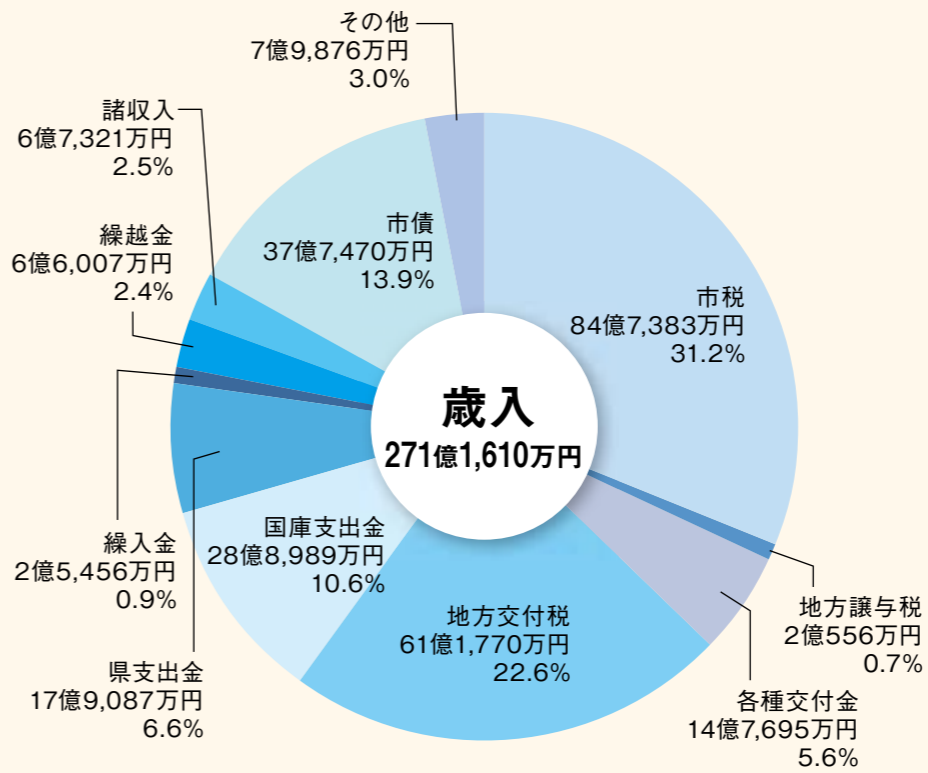
11月6日まで

(関連記事13ページ)

観音寺市の家計簿

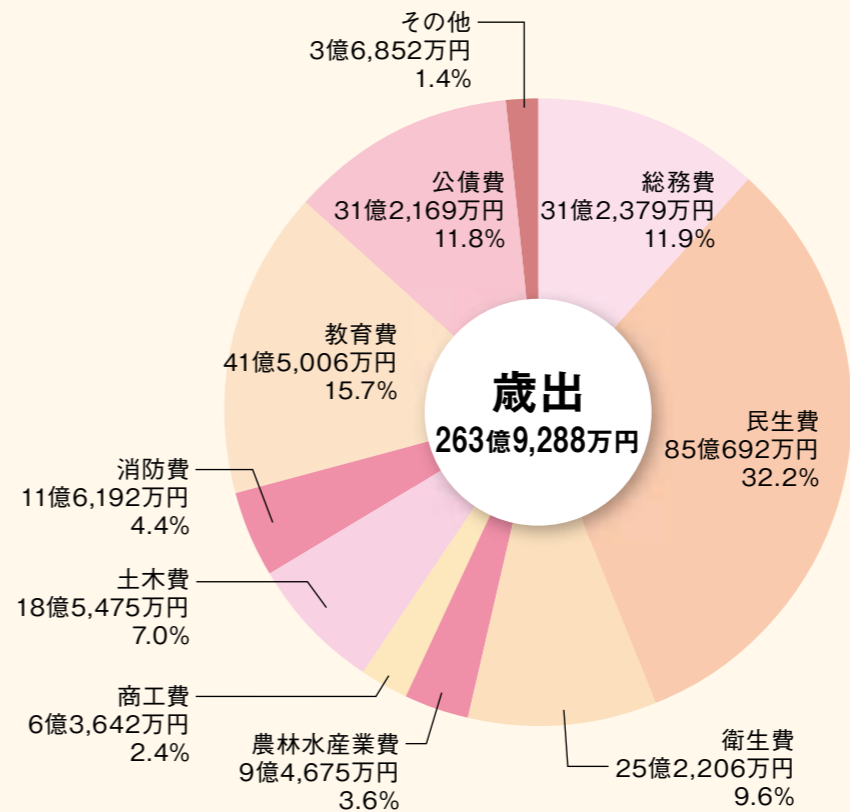
健全な財政運営を維持

総務課財政係 ☎23-3900



一般会計

平成27年度の一般会計歳入決算額は271億1,610万円（前年度比5.9%減）で歳出決算額は263億9,288万円（前年度比4.9%減）でした。歳入歳出の差引額は7億1,322万円で、翌年度へ繰り越した事業の財源1億5,035万円を除いた実質収支は5億7,287万円の黒字でした。



平成27年度の主な事業は、4ページに掲載しています。今後も、健全な財政運営を維持するため、限られた財源を重点的かつ効率的に運用することに努めていきます。

また、庁舎改築整備基金からの繰り入れが前年度で終了したことにより、繰入金7億9,924万円減少し、市債についても他事業も含めて、10億9,140万円減少しました。

歳出は、総務費で新庁舎建設事業がほぼ完了したことにより、25億1,765万円減少しました。

平成27年度決算については、市ホームページ「市政情報」→「行政」→「財政状況」で確認してください。

また、決算書は、市役所総合案内所や大野原支所、豊浜支所で閲覧できます。

特別会計

特別会計とは、特定の目的のために設置し、一般会計とは区分して経理する会計のことです。国民健康保険や公共下水道など10の特別会計があり、それぞれ保険税や使用料など

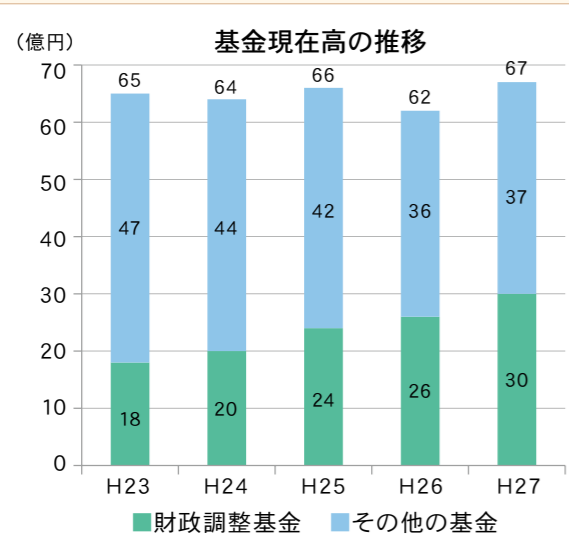
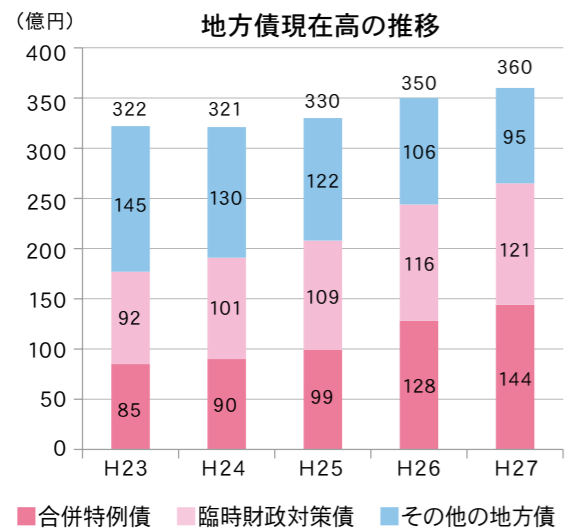
どの特定の収入で事業を行っているかによって、平成27年度は、全ての会計で黒字決算でした。



特別会計名	収入額 A	支出額 B	差引額 A-B
施設貸付事業	1億7,855万円	1億5,793万円	2,062万円
国民健康保険事業	92億1,059万円	92億390万円	669万円
国民健康保険伊吹診療所	6,497万円	6,253万円	244万円
後期高齢者医療事業	8億8,158万円	8億8,069万円	89万円
介護保険事業	54億9,021万円	53億5,998万円	1億3,023万円
航路事業	1億1,957万円	9,574万円	2,383万円
粟井財産区	936万円	81万円	855万円
粟井坂瀬山林	1,966万円	30万円	1,936万円
公共下水道事業	15億3,609万円	12億9,883万円	2億3,726万円
農業集落排水事業	3,884万円	3,576万円	308万円

地方債現在高 (一般会計)

平成27年度末の地方債現在高は約360億円で、前年度より約10億円増加しています。



基金現在高 (一般会計)

基金は、家庭という「貯金」に当たります。基金には、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金や特定の目的のために積み立てている特定目的基金などがあります。平成27年度末の基金現在高は67億円です。前年度末より約5億円増加しています。

合併特例債とは、合併後の市町村の一体性の確立や均衡ある発展などを目的とした事業を実施するために発行する地方債です。元利償還額の70%が後年度の地方交付税に算入されます。

臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うために、地方公共団体が発行する地方債です。償還額の全額が後年度の地方交付税に算入されます。

水道事業を公表します

平成27年度決算

○平成27年度末の状況

給水人口	6万1,393人
給水戸数	2万4,249戸
普及率	99.2%
年間総配水量	812万5,101立方メートル
一日平均配水量	2万2,200立方メートル
年間有収水量	711万6,320立方メートル
一日平均有収水量	1万9,443立方メートル

○香川用水の受水状況

年間受水量	520万9,859立方メートル
一日平均受水量	1万4,235立方メートル

これは、総配水量の64.12%にあたります。

主な建設改良工事

○新設改良事業等

- 市道観音寺大野原豊浜線（本村地区）配水管布設
- 国道11号（和田浜地区）配水管布設
- 市道有松線送・配水管布設
- 市道中央七間橋線老朽配水管更新
- 茂木浄水場防災倉庫新築

「水は限りある資源です
大切に使いましょう」

問い合わせ先 水道局監理課 ☎25-5212

平成27年度収支状況

収入	給水収益	13億8,520万円	93.9%
	受託工事収益	1,416万円	1.0%
	分担金・その他	7,579万円	5.1%
合計		14億7,515万円	100.0%
支出	人件費	1億8,395万円	14.0%
	物件費	2億6,290万円	19.9%
	動力費	4,113万円	3.1%
	薬品費	482万円	0.4%
	受水費	3億5,160万円	26.7%
	減価償却費	3億7,573万円	28.5%
	資産減耗費	2,243万円	1.7%
	支払利息	3,643万円	2.8%
その他		3,825万円	2.9%
合計		13億1,724万円	100.0%

貸借対照表 平成28年3月31日現在

資産の部	・固定資産	(1)有形固定資産 87億5,218万円 (2)無形固定資産 1億4,202万円 固定資産合計 88億9,420万円
	・流動資産	(1)現金及び預金等 18億4,709万円 (2)貯蔵品 702万円 (3)その他流動資産 1億8,961万円 流動資産合計 20億4,372万円
	資産合計 109億3,792万円	
	・負債の部	・固定負債 (1)企業債 16億1,216万円 (2)引当金 4億1,639万円 固定負債合計 20億2,855万円
負債の部	・流動負債	(1)未払金 1億2,826万円 (2)預り金等 1億3,709万円 流動負債合計 2億6,535万円
	・繰延収益	繰延収益合計 8億5,992万円
	負債合計 31億5,382万円	
資本の部	・資本金	(1)自己資本金 63億9,807万円 資本金合計 63億9,807万円
	・剰余金	(1)資本剰余金 6,338万円 (2)利益剰余金 13億2,265万円 剰余金合計 13億8,603万円
	資本合計 77億8,410万円	
負債資本合計 109億3,792万円		

戦争体験談を募集します

観音寺市戦争体験記原稿執筆のお願い

戦後70年が経過し、人々から戦争の記憶が薄れつつあります。私たちは、二度と起こしてはならないこの悲惨な戦争を風化させることなく、恒久平和の実現に向けて、後世に語り継いでいく必要があります。

そこで、当時の資料収集や実際の体験談の募集、戦争遺跡の調査などを行い、「戦争の記憶、未来への伝言」として『観音寺市戦争体験記』の編集を進めています。

本書の中心となる「第2編 証言編」に掲載する「戦地での記憶」や「内地での体験」などの体験談を募集しますので、協力をお願いします。

執筆テーマ
戦争に関連する体験談なら、何でも可（出征のときの思い出、最前線での体験、戦争と私、終戦の日の記憶、戦後の暮らし、父母の思い出など）

原稿枚数
400字詰め原稿用紙4枚程度（縦書き）
パソコンを使用する場合は46字×16行で2枚程度

受付期間
12月28日（水）まで

注 意
執筆ができない場合など、詳しくは問い合わせてください。

問い合わせ先
文化振興課 ☎23-3943

健全化判断比率の状況 (単位：%)

健全化判断比率	平成26年度決算	平成27年度決算	〈参考〉	
			早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率 (一般会計等の赤字の程度をみる指標)	-	-	12.7	20.0
連結実質赤字比率 (一般会計等及び公営企業会計を含めた市全体の赤字の程度をみる指標)	-	-	17.7	30.0
実質公債費比率 (市全体及び一部事務組合を含めた公債費(借入金の支払い)の標準財政規模に対する割合をみる指標)	11.2	10.2	25.0	35.0
将来負担比率 (市全体、一部事務組合、公社・出資法人などを含めた将来的な負担の標準財政規模に対する割合をみる指標)	84.8	76.4	350.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため、「-」と表示しています。

資金不足比率の状況 (単位：%)

特別会計の名称	平成26年度決算	平成27年度決算	経営健全化基準
水道事業	-	-	20.0
航路事業	-	-	
公共下水道事業	-	-	
農業集落排水事業	-	-	

※資金不足比率は、全会計とも資金不足額がないため、「-」と表示しています。

平成27年度の主な事業

事業名	決算額	事業名	決算額
合併10周年記念事業	1,070万円	児童手当事業	9億7,327万円
広報費(広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ文字放送、オフトーク等)	2,203万円	子ども医療費助成事業	2億4,104万円
自治会活動支援事業(自治会協議会活動補助金等)	2,564万円	子育て世帯臨時特例給付金給付事業	2,788万円
人権啓発活動事業	165万円	施設介護サービス給付事業	23億3,884万円
地籍調査事業	2,240万円	障がい者自立支援給付事業	6億8,835万円
中央七間橋線改築事業	1億4,850万円	生活保護扶助事業	4億5,180万円
道路改築事業(社会資本)	9,534万円	国民健康保険一般被保険者療養給付費	46億6,858万円
のりあいバス運行事業	3,758万円	後期高齢者医療事業	8億8,069万円
空き家対策事業	928万円	地区公民館生涯学習事業	1,076万円
地域情報通信基盤整備事業	9,450万円	特別支援教育支援員設置事業(小・中学校)	2,950万円
同報系デジタル防災行政無線整備事業	2億5,014万円	外国語指導助手設置事業(小・中学校)	1,955万円
飲料水兼用耐震性貯水槽整備事業	5,297万円	南部地区幼稚園建設事業	5,784万円
伊吹総合防災センター建設事業	7,518万円	新市民会館建設事業	14億7,269万円
耐震改修対策支援補助事業	909万円	日本学生トリアスロン選手権大会開催事業	652万円
がん検診事業(胃がん、子宮がん、肺がん、大腸がん、乳がん、前立腺がん)	4,897万円	水道新設改良事業	1億1,342万円
予防接種事業(子宮頸がん、Hib、小児用肺炎球菌等)	1億4,501万円	公共下水道事業(下水道管敷設等)	2億8,526万円
ファミリー・サポート・センター事業	515万円	一般廃棄物収集運搬、処理委託事業	4億1,179万円
保育所運営事業	10億8,824万円	新規就農者サポート、活動支援事業	234万円
放課後児童健全育成事業	4,002万円	中小企業振興事業	210万円
妊婦及び乳児健康診査事業	4,726万円	新庁舎建設事業	1億8,761万円

健全化判断比率・
資金不足比率の
状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成27年度決算における観音寺市の財政状況を判断する各比率を左表のとおりお知らせします。

これらの比率には早期健全化基準や財政再生基準等が設定されており、基準値を上回ると同法の規定によって財政の健全化

各地方公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合をみる指標

資金不足比率とは

平成27年度決算における比率は、いずれも基準値を下回っていますが、今後とも市では、これらの比率の動向に注意しながら、健全財政の維持に努めていきます。

に向けた改善措置が義務付けられます。

平成27年度決算における比率は、いずれも基準値を下回っていますが、今後とも市では、これらの比率の動向に注意しながら、健全財政の維持に努めていきます。